

# つばめ飛び、地域輝く

最終回

旅館の女将が団結して「地域全体」をアピール―人吉地域

## 旅館の女将が地元のPRに一役

緩やかに流れる球磨川沿いに、数多くの温泉旅館が点在する人吉市。『人吉温泉女将の会 さくら会』は、人吉温泉の活性化やイメージアップを目的に、平成六年に結成されました。現在、会員数は十二人。「各旅館で競うより、人吉温泉として地域全体をアピールすることが必要」と、多忙な女将の仕事の合間をぬって、その日のピンチのふっぴ姿で、地域内外のイベントなどにも積極的に参加。オリジナルの入浴剤や和タオル、絵ハガキの制作、販売なども実施。このような独自の取り組みが評価され、平成十五年には県観光連盟の「観光功労賞」を受賞しました。

## 新幹線開業をチャンスに！

「新幹線の開業や人吉、別府大分を結ぶ九州横断特急」の新設で、人吉へのアクセスが向上する今がチャンスと思い、開業直前に九州各地を観光PRキャンペーンで回りました。おかげさまで訪問した関係者の方々を中心に、お越しいただきました」と会長の富田千鶴子さん。



人吉温泉女将の会 さくら会 会長 富田千鶴子さん

開業後は、人吉温泉の利用客の手荷物をJR人吉駅で預かり、街並み散策を楽しみながら旅館においでいただくという、おひとよし人吉手ぶらでチェックインサービスを実施。「わたしたちの活動も少しずつ知っていただき、今後とも皆で力を合わせて頑張りたいですね」。

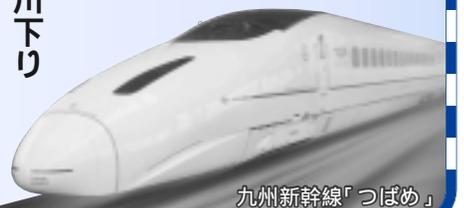
## 全線開業までに 魅力あるコースづくりを

「人吉・球磨地域には、温泉や球磨川下りのほかに、相良三十三観音めぐりや、ひなまつり、球磨川ラフティング、ゴムボートでの川下り」など四季を通して観光資源が豊富にあります。また、JR肥薩線人吉―吉松、鹿児島県間の「いさぶろつ号」「しんべい号」ものんびり車窓が楽しめるという評判も上々です。現在は九州・山口からのお客さまが中心ですが、今後は、九州新幹線の全線開業も視野に入れて、関西方面からのお客さまにもお越しいただけるよう、これらの観光資源を生かした魅力あるコースづくりをしていきたいですね」と意欲的。地元の大きな期待を背負い、明るく元気な女将たちの活動はこれからも続きます。



「おひとよし人吉手ぶらでチェックイン」(人吉駅)

全六回にわたり、九州新幹線先行開業後の県内各地の取り組みを紹介してきました。県では、新幹線開業効果を生かした地域振興策を進めるため、今年度から市町村や民間団体などととも、「新幹線くまもと創りプロジェクト推進本部(仮称)」を立ち上げる予定です。平成二十三年の九州新幹線全線開業へ向け、県内各地域の活性化に取り組んでいきます。



九州新幹線「つばめ」

# 知りたい！県庁

皆さんの質問にお答えします。

**Q** 最近、バイオマスという言葉をよく聞くようになりましたが、どのようなものですか？ また、バイオマスに関する県の取り組みについて教えてください。

**A** バイオマスとは、動物や植物から発生するもので、再生できる有機性資源です。家畜排せつ物、生ごみ、木くず、下水道汚泥、古紙などが代表的なもので、現在、県内では、年間約四百八十万トンが発生しています。

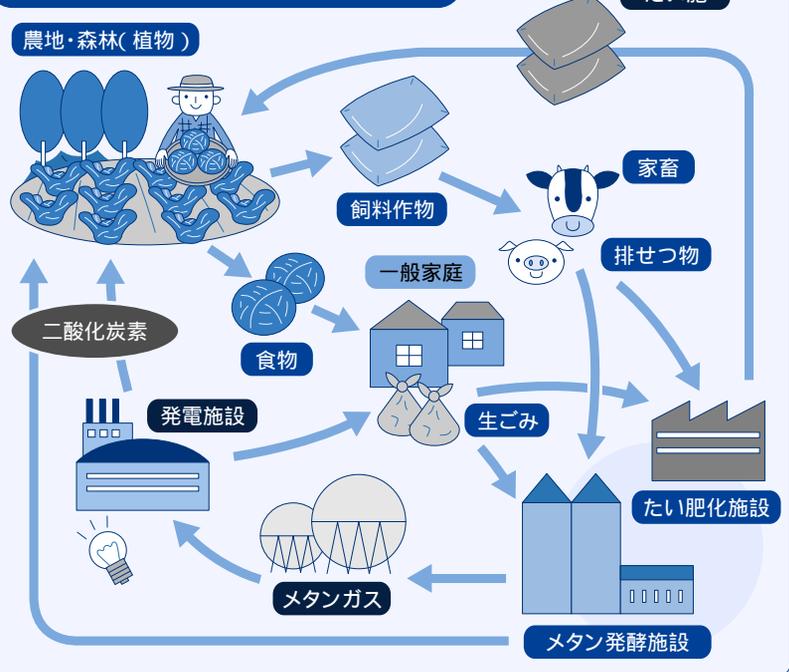
こうしたバイオマスは、さまざまな形で再利用ができます。例えば、家畜排せつ物や生ごみを微生物によって分解し、たい肥として利用したり、分解の時に発生するメタンガス

を回収して発電したり、メタン発酵施設でメタンガスを発生させ、それを発電に利用したり、また、木くずを炭にして燃料にしたり、家庭から捨てられるてんぷら油から自動車の燃料を製造することもできます。

バイオマスは、石油や石炭などの化石資源と異なり、どんなに利用しても地球温暖化の原因である二酸化炭素を増やすことはありません。また、バイオマスを無駄なく繰り返し使うことによって、環境に優しい循環型社会をつくっていくことができます。

県では、今年三月に、バイオマスの発生量や活用状況、利活用するうえでの課題、利活用の目標、施策の方向性や促進方策などを内容とする「バイオマス利活用基本方針」を策定し、積極的にバイオマスの利活用を進めていくことにしています。

## バイオマス利活用のイメージ



バイオマス利活用のイメージ

農地・森林(植物) → 飼料作物 → 家畜 → 排せつ物 → たい肥 → たい肥化施設 → 二酸化炭素 → 農地・森林(植物)

一般家庭 → 生ごみ → たい肥化施設 → たい肥 → たい肥化施設 → 二酸化炭素 → 農地・森林(植物)

生ごみ → メタン発酵施設 → メタンガス → 発電施設 → 二酸化炭素 → 農地・森林(植物)

生ごみ → メタン発酵施設 → メタンガス → メタン発酵施設 → 二酸化炭素 → 農地・森林(植物)

お問い合わせ先  
熊本県環境政策課 循環型社会推進班  
☎ 096-383-1111(内線7318) FAX 096-383-0314